平成30年度事務事業実績評価表													
1 事業概要							課名	産	業振興課	事業No.		166	
							会計	一般包	会計				
事務事業名			雇用対策事業					事業区分		政策	実施区分		継続
								開始			終了		
	主要区	主要区分		記号計画等名称									
		戦略計画		1	若者が帰って	こられる産	業をつくる						
	戦略計i												
根	/\ mz ==!+				性化プログラム	4							
拠	分野別記 	分野別計画		飯田市版絲	6合戦略								
	 法令・例:	60年											
	/A マ · 79]	₩ च											
		対	#	&C m T/I	羽の京坊出								
_	事業目的	XJ	家	即田・下17	那の高校生								
		意	図	地域産業の)将来を担う人権	材の育成と研	寉保						
2事	業内容												
		取組内容 校1年生を対象に、自らの進路を考える手がかりとなる 。						経費の内容					業費(千円)
	7.1	1											
								主人材育成		選択支援			2,970
	地域	全業説 明	月会を	実施すると	ともに、就職を	を間近に控え	える高 UI	主人材育成 ターン就職		選択支援			2,970 413
	地域 校 3 ⁴	産業説明 手生を対	月会を 対象に	実施すると 、管内の企	ともに、就職を業への認識を済	を間近に控え 深め、地域内	える高 UI			選択支援			
	地域 校34 につれ	産業説明 年生を対 なげる力	月会を 対象に とめの	実施すると 、管内の企 企業見学会	ともに、就職を 業への認識を済 を実施しました	を間近に控え 深め、地域内 た。	える高 UI n就職			選択支援			
30£	地域函 校3年 につな ・高村	産業説明 年生を対 なげる力 交生と均	月会を 対象に ための 也元企	実施すると 、管内の企 企業見学会 業が交流で	ともに、就職を 業への認識を終 を実施しました きる場を設け、	を間近に控え 架め、地域内 た。 その緩やカ	える高 可就職 コな関			選択支援			
	地域 校3 ⁴ につる ・高板 係性の	産業説明 年生を対 な生と対 交生と対	月会を 対象の と し こより	実施すると 、管内の企 企業見学会 業が交流で 、地元企業	ともに、就職を 業への認識を済 を実施しました	を間近に控え 深め、地域内 た。 その緩やか たの選択肢の	える高 可就職 コな関			選択支援			
	地域 が	産業説明 業業に対して な生になった。 な生になった。 ないないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないないない。 。 ないない。 。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 。 ないない。 ないない。 。 ない。 ない	月またしたが、会象の元よるの企りである。	実施すると、管内の企 企業見学会 業が交流で 地元企業 デル事業を	ともに、就職を 業への認識を終 を実施しました きる場を設け、 を将来の就業5	を間近に控え 深め、地域内 た。 その緩やか もの選択肢の	る高 可就職 いな関)一つ			選択支援			
	地域 M	産業は交びで、発生が生継つ新めると続な規	月また世こが就会象め元よる職	実施すると、管内の企業見完施で 企業見完流で 業地元企業 でル事業を を対象に、	ともに、就職を終れる。 これの認識を終れる。 これの認識を対した。 これの認識を対け、 これの認識を対け、 これの認識を対け、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	を間近に控え ない。 その選択 肢の る不安等を解 る不安等を解	コース			選択支援			
	地域3 校でで高校で、 ・ 係と・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	産業生は交ので卒句学生 説をあと続な規に等 がよります。	月付き地こが就社の会象め元よる職会地をにの企りモ者人域	実施管業が地ル対活動を全人の企会で業を、がまるの学流企業を、が地ル対活動を職を、対している。	ともに、就職を業をした。ともの認識をという。というでは、就職を実した。というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	を間近に控え を開め、 で、その選択 をののの選択 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をのいる。 をのいるのである。 をのいるのでのである。 をのいるので。 をのいる。 をのいるので、 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのい。 をのいる。 をのい。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのい。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのい。 をのいる。 をのいる。 をのい。 をのい。 をのいる。 をのいる。 をのい。 を。 をのい。 を。 を。 を。 を	で 対 対 が 関 か な 関 か で 関 が で に で に で に で に に で に に に に に に に に に に に に に			選択支援			
	地域3 校でで高校で、 ・ 係と・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	産業生は交ので卒句学生 説をあと続な規に等 がよります。	月付き地こが就社の会象め元よる職会地をにの企りモ者人域	実施管業が地ル対活動を全人の企会で業を、がまるの学流企業を、が地ル対活動を職を、対している。	ともに、就職を業をした。 就職を終する がった にない という にいる という	を間近に控え を開め、 で、その選択 をののの選択 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をのいる。 をのいるのである。 をのいるのでのである。 をのいるので。 をのいる。 をのいるので、 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのい。 をのいる。 をのい。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのい。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのい。 をのいる。 をのいる。 をのい。 をのい。 をのいる。 をのいる。 をのい。 を。 をのい。 を。 を。 を。 を	る高 可就職 いな関 つ 一 で に の に に に に に に に に に に に に に	ターン就職		選択支援			
	地域3 校でで高校で、 ・ 係と・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	産業年は交りで卒句学元 説をると続く対して本句学元 が表して本句学元 ので、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	月付と地こが就社のこと。象め元よる職会地つまる職会地つ	実施すの学院では、データを主義が、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	ともに、就職を終れている。ともに、就職を終れている。というでは、就職を終れている。というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	を間近に控え 深め、地域内 た。 その選択 技の 表の選択 等を る不催し ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない	UI	ターン就職	支援		令和元年	度	413
	地域3 校でで高校で、 ・ 係と・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	産業年は交りで卒句学元 説をると続く対して本句学元 が表して本句学元 ので、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	月付と地こが就社のこと。象め元よる職会地つまる職会地つ	実施管業が地ル対活動を全人の企会で業を、がまるの学流企業を、が地ル対活動を職を、対している。	ともに、就職を終れている。ともに、就職を終れている。というでは、就職を終れている。というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	を間近に控え を開め、 で、その選択 をののの選択 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をののである。 をのいる。 をのいるのである。 をのいるのでのである。 をのいるので。 をのいる。 をのいるので、 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのい。 をのいる。 をのい。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのい。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのいる。 をのい。 をのいる。 をのいる。 をのい。 をのい。 をのいる。 をのいる。 をのい。 を。 をのい。 を。 を。 を。 を	る高 可就職 いな関 つ 一 で に の に に に に に に に に に に に に に	ターン就職	支援	選択支援 平成30年度 実績	令和元年	度	413
	地域3年度 (本)	金	月付た地こが就社のこと。 会象め元よる職会地つ (をにの企りモ者人域など)	実施すの学院では、データを主義が、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	ともに、就職を終れている。ともに、就職を終れている。というでは、就職を終れている。というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	を間近に控え 深め、地域内 た。 その選択 技の 表の選択 等を る不催し ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない	で 可 可 が で 関 で で で で で で で で で で で で で	ターン就職 也の経費 平成29	支援	平成30年度	令和元年	度	413
	地域3年に、1年には、1年に、1年に、1年に、1年に、1年に、1年に、1年に、1年に、1年に、1年に	金手な交別でを向学元 指案 業生げ生継つ新き生就 標業 標 製 標 製 に 対 は 水 泉 ネ の は 悪 説 に 教 は 悪 説 に 教 が と の は か と の は か か か か か か か か か か か か か か か か か か	月付た地こが就社のこ 、	実施管業が地ル対活就を生内見交元事象を職機表せい対活就はで、大きを生内ができた。	ともに、就職を終れている。ともに、就職を終れている。というでは、就職を終れている。というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	を間近に地域に に地域で た。その選択を もの選択等しる 不催ダン 単位	で で で で は で まま	ウーン就職 也の経費 平成29 実約	支援 年度	平成30年度 実績	令和元年	度	413
取	地域34 校に・係と・、・係と・、・、 地域25 をと・、・、・ 地域25 地域25 地域25 地域25 地域25	室手は交りに答句学元	月付と他こが就出のこ 、 月成会象め元よる職会地つ (会講をにの企りモ者人域な ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	実施管業が地ル対活就るで高いで変元事象を職機を表での学流企業に、めを会せをいるので、では、これがでは、これがでは、これがでで、一般では、これが、では、これが、では、これが、できない。	ともに、就職を終れている。ともに、就職を終れている。というでは、就職を終れている。というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	を間近に地域内に地域のの選 安しン 不催ダン を	で で で で は で まま	ウーン就職 也の経費 平成29 実約 2	支援 年度 責 2	平成30年度 実績 2	令和元年	度	413

	3	予算額	3,430
	ž	央算額	3,383
30年度		国庫支出金	0
決算	財源の	県支出金	1,728
(千円)	状況	地方債	0
	1八/兀	その他	1,655
		一般財源	0

特定財源内訳及び補足事項

22.3

20.9

20.6

20.4

20.6

18.2

(県) 地域発元気づくり支援金 (4/5) (そ) 地域雇用創出推進基金繰入金

%

3 事務事	坐を構成す	る予質科日

高卒就職者

大卒等就職者

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	5	1	1	10	4	3,430	3,383	雇用対策事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返	振返り課題認識 地元への回帰定着率を高めるためには、高校生までの間に地元の企業を知ることが重要です。その新たなアプローチとして取り組んだ高校生と地元企業とを「つなぐ」事業は、16社の協力を得て250人を超える高校生が参加しました。これまで以上に、回帰定着率を向上させるためには、高校生が進学後も緩やかな関係性が継続できるプログラムと、企業内メンターの育成が必要です。								
	上記の課題解決 のための有効策 SNSの活用により、つなぐ事業等でつながりができた高校生に対し、継続的に情報発信ができる仕組みを作ることが有効 と考えます。また、協力企業同士の情報交換を通じた横のつながりを強化することで、各社の取り組みの底上げを図り、協働プログラムの実施につなげます。								
	次年度に向けて の取り組み・つなぐ事業等に参加した高校生に効果的に情報発信できる仕組みづくりを進めます。 ・つなぐ事業の協力企業同士の情報交換ができる場を多く設定し、より効果的な事業の組み立てを支援します。 ・高校生からのつながりを活用し効果的な滞在型インターンシップの実施に向けた検討を進めます。								